



「芸術家と子どもたち」のアーティスト・ワークショップは、「教える／教えられる」という方向の関係性ではなく、アーティストと子どもたち、あるいは子どもたち同士が、双方向の関係性を築く活動です。

うたで、楽器で、おどりで、絵で、お互いの思いを伝え合い、認め合い、新しいものを生み出す「創造的体験」の場。

アーティストとの出会いで、子どもたちは本来もっている潜在的な力を発揮し、ぐんぐん伸びていきます。

私たちは、このようなアーティスト・ワークショップを困難な状況にいる子どもたちにも、届けたいと考えています。ぜひ一緒に、ワークショップに取り組んでみませんか？

これまで、このような場所でワークショップを実施してきました

**子ども家庭支援センター（豊島区 東部・西部）**

子どもの養育に関する相談ができ、地域の子育てに関する情報が集まる場所。

**児童相談所（豊島区・荒川区）**

子どもとその家族に対して相談援助を行い、問題を解決していく専門の相談機関。

**そだちのシェアステーション・つぼみ（清瀬市）**

放課後児童・不登校児童の「第三の居場所」、ショートステイ、保護者等への養育相談等を行っている。

**Q 施設側の費用負担は？**

**A** ワークショップを実施する施設側の費用負担は基本的にございません。ただし、施設に日常的にあるもの（文房具や机など）は、相談のうえお借りする場合があります。

**NPO 法人 芸術家と子どもたちとは？**

「芸術家と子どもたち」は 2001 年に設立された特定非営利活動法人です。多様な価値観・考え方・身体感覚を持つ人々が共生する社会を創出するため、子どもたちとアーティストの出会いを通じて、創造的な学び・遊びの機会をつくりだす活動を行っています。

**ASIAS（エイジアス）**

ASIASは、Artist's Studio In A Schoolの略。アーティストが小中学校（特別支援学級／学校を含む）・保育園・幼稚園・児童福祉施設などへ出向き、先生や職員と協力しながらワークショップを実施する活動です。

**パフォーマンスキッズ・トーキョー**

ダンスや演劇、音楽などの分野で活躍するプロの現代アーティストを、都内の小中学校や文化施設・児童福祉施設などに派遣。10 日間程度のワークショップを行い、子どもたちが主役のオリジナルの舞台作品をつくり上げます。最後に発表公演を行い、多くの方にワークショップの成果を発信しています。



スタッフブログ

活動の様子はこちらから

**NPO 法人 芸術家と子どもたち**

〒170-0011 東京都豊島区池袋本町 4-36-1 旧文成小学校 2 階  
TEL : 03-5906-5705 FAX : 03-5906-5706  
mail : mail@children-art.net HP : https://www.children-art.net/



発行日：2025年3月／発行者：特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち／デザイン：ムラハタワークス  
文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」



児童福祉施設・行政機関のみなさまへ

**ARTIST WORKSHOP**

アーティスト・ワークショップで  
子どもたちの支援に  
いつもと少し違ったアプローチを



特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

例えば...  
**このようなワークショップを実施しています**

「芸術家と子どもたち」は、これまで 280 人以上のアーティストを招き、ワークショップを実施してきました。「個々の活動だけではなく互いに関わりあう活動を」「施設に飾れるアート作品をつくってみたい」などなど、職員の方が、対象の子どもたちや保護者とやってみたことを丁寧にヒアリングしながら、その施設でできることを一緒に考えていきます。

**身体あそび**

ダンス



アーティストならではの新しい動きを体験している



誰かと一緒に動きを楽しむ

© 羽鳥直哉



新聞紙の動きを自分なりに表現

**音あそび**

音楽



普段触れる機会があまりないような民族楽器を楽しむ



© 金子愛帆



フライパン、ペットボトル、木の板など、身近なものまで楽器にしてみる

**ものづくり**

美術

大きな模造紙に  
 たくさんの絵の具や  
 ペンで自由に色をのせて



© 金子愛帆



みんなで描く



シールを貼って自分だけの人形づくり



**劇あそび**

演劇・絵本



俳優や音楽家たちと一緒に絵本の世界を楽しむ

対話を繰り返しながら、  
 ひとつのオリジナル作品を創作する



© 金子愛帆

**「NPO 法人芸術家と子どもたち」が大切にしていること**

私たちのアーティストワークショップでは、何かをさせようとするを目的とするのではなく、アーティストならではのアプローチによって「子どもたちが発する表現」を大切にしています。初回は端で見ていた子が、複数回のワークショップを重ね、アーティストが寄り添い、あるいはじっと待つことで、ある時、自ら動き出すことがあります。自分ひとりでは心の安定が図れず、自己表現が苦手なために SOS を出せない子どもたちにこそ、いつもと違ったアプローチが必要であり、その子にとっては、アーティストワークショップが支援のひとつの方法になるかもしれません。

そして、それぞれに複雑な課題を抱える地域の子どもたちが、家庭の状況に左右されず、さまざまな人と出会い、多様な価値観を認め合う地域をつくるのが、将来的な課題解決になると考えています。各機関や地域団体のつながりを強化しながら、子どもたちが、表現とコミュニケーションのプロである「アーティスト」という存在と出会い、互いにフラットに向き合って多様な表現を交わしあうことで、子どもたちの「生きる力」を育むことができると私たちは信じています。